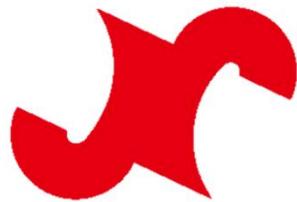


令和 8 年度
防府市商工業振興施策に関する要望



防府商工会議所

令和8年度防府市商工業振興施策に関する要望

防府市におかれましては、物価高騰や人手不足といった厳しい経営環境下にある中小・小規模事業者に対し、事業の維持と活力強化に向けた多様な支援を実施いただき、深く感謝申し上げます。また、現在開会中の防府市議会第4回定例会においては、11月26日に提出しました緊急要望に応えるかたちで、追加議案として補正予算（案）を市議会へ提出していただきましたこと、誠にありがとうございます。

さて、第5次総合計画においては、新庁舎の完成や国道2号富海区間の拡幅、「がんばる地域応援事業」などにより、まちづくりが大きく進展しました。来年度は、市制90周年の節目の年であり、第6次総合計画もスタートすることから、市民の期待が一層高まっているところです。

こうした中、現在、わが国経済は賃上げや設備投資が進み、成長型経済への転換の好機にあります。その基盤を支えているのは地域経済の中心である中小企業ですが、多くが依然としてコスト高や人手不足、米国の関税措置による先行き不安など、厳しい環境に直面しています。当所が8月に実施した景況・関税影響調査では、物価高騰の影響が「昨年より大きい」と回答した事業者が46.2%に達し、仕入れやエネルギーコストの上昇、消費意欲の低下が主な要因として挙げられました。設備投資計画を持つ事業者も3割にとどまり、慎重な姿勢がうかがえます。

こうした状況下で、中小・小規模事業者が持続的な賃上げや成長投資の原資を確保するには、「稼ぐ力の強化」が不可欠です。このため、生産性向上や付加価値拡大といった主体的な挑戦を後押しする支援の充実を要望いたします。あわせて、人手不足が深刻化する中、従業員の手取り向上や多様な人材の活躍を促す施策の強化もお願い申し上げます。

さらには、イノベーションの担い手となるスタートアップや、地域経済を牽引する中堅企業への成長段階に応じた支援、事業承継・再生の円滑な推進など、切れ目のない支援体制の構築も必要となります。

当所といたしましても、引き続き、防府市と一体となり、市内経済の活性化に取り組んでまいりますとともに、防府天満宮1125年式年大祭に向けての裸坊1万人奉仕や、クルーズ船の寄港、もちまきのまち防府の定着など、より一層防府を盛り上げ、魅力あるまちづくりに取り組んでまいります。

つきましては、令和8年度防府市商工業振興施策に関する要望書を提出しますので、当所の事業運営につきましてご理解を賜り、各種施策や予算措置について特段のご配慮をいただきますようお願い申し上げます。

令和7年12月15日
防府商工会議所
会頭 羽嶋秀一

要望項目

■中小企業振興に関する要望

1. 中小・小規模事業者の経営課題解決に向けた支援の継続・拡充
2. 中小企業の人手不足に伴う雇用対策の強化
3. 創業・事業承継に対する支援強化
4. 中小・小規模事業者のデジタル化・DXに対する支援

■都市基盤整備に関する要望

1. 三田尻中関港の活性化推進
2. 国道2号台道・鋳銭司間4車線化の早期整備
3. 国道2号台道・鋳銭司間拡幅に合わせた台道地区への産業団地整備
4. 県道防府環状線西浦交差点の早期整備
5. 防府北基地東側道路の早期整備
6. 物流効率化に向けた潮彩エリアの整備
7. 三田尻大橋周辺の渋滞緩和策の実施
8. 都市計画道路牟礼中関線（勝間地区）の整備
9. 基幹道路に接する土地利用について
10. 市街化調整区域における土地利用の弾力化

■交流人口の増加と定住人口の増加に向けた支援に関する要望

1. 表参道再生による中心市街地のにぎわい形成

■まちのにぎわい創出による交流人口増大への支援

1. 防府の資源を生かしたまちのにぎわい創出・観光振興
 - ①幸せますフェスタの各事業への継続支援
 - ②もちまきのまち防府事業への支援
 - ③山口DCを通した誘客事業・地元消費事業の実施
 - ④豪華寝台列車「瑞風」停車による観光誘客の促進と受け入れ環境整備
 - ⑤1125年大祭に向けた裸坊1万人奉仕とまちなかへの誘客への取組支援
 - ⑥クルーズ振興へ公民連携での事業推進

■社会問題への対応に関する要望

1. 熱中症対策への支援
2. カーボンニュートラルにむけた企業の取り組み支援
3. 空き家・空店舗の利活用に資する対策の推進
4. 耕作放棄地の利活用

■物品調達・役務の提供等における地元企業の積極的な活用

1. 「バイ防府運動」の展開とふるさと納税活用による販路開拓支援
2. 公共工事等の継続的確保と地元企業への優先発注

■中小企業振興に関する要望

1. 中小・小規模事業者の経営課題解決に向けた支援の継続・拡充

当所では、地元企業が抱える多様な経営課題に対し、中小企業相談所およびコネクト22が相談窓口としての機能を担い、国・県・市と連携しながら各種施策の情報提供や活用支援を行っております。特に防府市におかれましては、「産業戦略本部会議」や「中小企業振興会議」における意見を踏まえ、迅速に支援策の創設・既存施策の拡充を進めていただいている、深く感謝申し上げます。

一方で、中小企業を取り巻く経営環境は、エネルギーや原材料価格の高騰、人手不足、円安などにより依然として厳しい状況にあります。加えて、米国との相互関税問題に伴う国際経済の不確実性は、地域のサプライチェーンにも影響を及ぼし、原材料コストのさらなる上昇を招く懸念があります。また、生活関連物価の上昇や消費マインドの低下により、業績がコロナ禍前の水準に戻らない事業者も少なくありません。こうした中で、中小企業が事業を継続し、地域経済の安定を維持するためには、生産性向上と付加価値拡大による「稼ぐ力」の強化が不可欠です。

つきましては、以下の施策の継続・拡充を強く要望いたします。

1. 米国関税制度への対応支援（制度融資の継続・個別相談の継続）
2. 原材料費や燃料費、人件費の高騰への対応支援の強化
3. 新たな収益事業の確立や生産性向上への取組支援
4. 地域経済の好循環実現に向けた支援（価格転嫁対策等）
5. 物価高騰に対する消費喚起策の実施
6. 物品調達・役務の提供等における地元企業の積極的な活用

関税・物価高騰対策への継続支援

- 特別相談窓口への中小企業診断士の設置
- 中小企業者等への資金繰り支援
 - ・関税・物価高騰対策緊急支援資金の継続
- 稼ぐ力の支援強化
 - ・生産性向上や省力化等に向けた設備導入への支援
- 自己変革に向けた取組支援
 - ・社長塾開催の支援
 - ・専門家相談への支援
- 物価高騰に対する消費喚起策の実施
 - ・プレミアム商品券事業の実施
- コネクト22における経営課題解決の強化
 - ・付加価値向上や価格転嫁に関するセミナーや個別相談会の開催

2. 中小企業の人手不足に伴う雇用対策の強化

中小企業における人手不足は、深刻な社会問題となっており、ほぼすべての業種で慢性的な不足状態が続いている。特に地方では、少子高齢化と若年層の流出が重なり、生産年齢人口の減少が加速し、人材確保が一層困難な状況です。必要な人材が確保できなければ、生産性やサービスの低下を招き、事業継続が危ぶまれるほか、人手不足倒産の増加も懸念されます。

防府市におかれましては、「ほうふ幸せます働き方推進企業」認定や、山口しごとセンターなど関係支援機関との連携による女性・高齢者の就業支援、「ほうふUJIターン支援サイト」による移住・就業・創業支援など、さまざまな取組みを進めていただいておりますことに感謝申し上げます。

一方で、必要な人材を確保するためには、より多様な人材の活用が求められています。外国人材の活用もその一つであり、防府市内でも 1,600 人を超える方が就労されています。今後は、外国人を受け入れている、または活用を検討している事業所の現状把握と課題解決に向けた支援の充実が必要です。

地域経済を支える中小企業の人手不足対策として、下記の取組みを要望いたします。

1. 企業説明会「防府の見栄える企業説明会」等への取組支援

防府の企業を知ってもらうことで、市内企業への就職と定住を促進する。特に大学進学率が高まる中で、就職先としての地元志向を喚起するような「防府独自の企業説明会」開催支援を要望します。



2. 人材定着のための職場環境整備と資格取得支援

相互関税などの影響による雇用不安を抱える企業から、人手不足企業への転職を円滑に進めるため、受け入れ企業の就業規則費用や教育費用等の初期費用の支援。また、地域経済と市民生活を支える職種での資格取得を支援し、安定した人材供給体制が構築するよう要望します。

3. 職業スキルアップに向けた支援（リスクリング・デジタル活用）

デジタル化対応による生産性向上のため、リスクリングなど人的資本投資への支援を要望します。

4. 多様な人材の活躍のための取組支援

女性・シニア・障害者・外国人材など、多様な人材が活躍できる環境整備を推進するため、性別役割意識やアンコンシャスバイアスの解消、地域ぐるみで共生と意識改革の取組みの支援を要望します。

3. 創業・事業承継に対する支援強化

防府市の支援を受けて当所が運営している「創業・交流センター」および「中小企業サポートセンター（コネクト 22）」では、令和7年4月から9月末までの間に388件の相談に対応し、27件の創業者を輩出、さらに8件の事業承継支援を行いました。地域経済の活性化において、創業者の創出と円滑な事業承継は極めて重要です。創業や承継の担い手の多くは、資金面・知識面での課題を抱えており、創業初期の経営基盤づくりや、事業承継に伴う新たな挑戦を支える仕組みが不可欠です。防府市におかれましては、これまでの取組みをさらに発展させ、地域内で新たな価値を生み出す創業・承継支援の充実を要望いたします。

1. 創業セミナー「ほうふ創業塾」の開催支援

創業希望者が基礎知識を習得し、ビジネスプランを具体化できる機会として、引き続き開催支援をお願いします。

2. 起業意識を醸成する創業交流会の開催支援

先輩創業者や専門家との交流を通じて、地域内での創業機運を高める交流イベントの開催支援を要望します。

3. 資金面での支援強化

- ・防府市振興資金において引き続き低利での融資と保証料全額負担の継続
- ・特定創業等支援事業の継続
- ・事業承継計画を策定した小規模事業者に対し資金面での支援

4. 中小・小規模事業者のデジタル化・DXに対する支援

企業の競争力を左右する要素として、デジタル化・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は不可欠な時代となっています。中小・小規模事業者においても、人手不足の解消や生産性向上、業務効率化を図るうえで、デジタル技術の活用は極めて重要です。一方で、デジタル化の必要性を感じながらも、「何から始めてよいか分からない」「社内にITに詳しい人材がない」など、初期段階で立ち止まる事業者が多いのが現状です。デジタル技術の導入・活用に加え、これを担う人材の育成も喫緊の課題となっています。

防府市におかれましては、県の「やまぐちDX推進拠点 Y-BASE」などとの連携を深めながら、市内企業のDX推進に向けた支援体制の強化を要望いたします。地域の中小企業がデジタル化を通じて新たな価値を創出し、持続的な成長と地域経済の活性化を実現できるよう、下記の項目について支援をお願いいたします。

1. 中小企業が取り組むデジタル化・DX推進に対する支援の強化

デジタル化導入に向けた専門家派遣やセミナーの開催、補助制度など、企業規模に応じた支援策の実施を要望します。

2. デジタル化を活用した業務改革・省力化設備への支援

生産管理、受発注、在庫管理など業務効率化に直結するシステム導入や自動化設備に対する補助を要望します。

3. デジタル人材の育成のための研修支援

地域産業を支える人材のスキル向上を目的に、デジタル基礎教育や実務研修等への参加費助成を要望します。

4. やまぐち DX 推進拠点 (Y-BASE) の活用推進

市内企業が気軽に専門的な相談や体験を行えるよう、Y-BASE との連携強化と情報発信の拡充を求めます。

5. 企業が行う申請手続きのデジタル化の推進

補助金申請や各種届出等のオンライン化を進め、事業者の負担軽減と業務効率化を図ることを要望します。

■都市基盤整備

1. 三田尻中関港の活性化推進

国道2号防府富海区間の4車線化により、防府市の交通アクセスは一層向上し、今後は物流拠点としての重要性が高まることが期待されます。特に「物流の2024年問題」を背景に、トラック輸送の効率化・省人化が求められるなかで、海上輸送の需要は確実に拡大しており、三田尻中関港の果たす役割はこれまで以上に大きくなっています。

現在、三田尻中関港利用促進協議会が中心となってポートセールスを実施していますが、近年の船舶の大型化は、海上物流にとって喫緊の課題となっています。

つきましては、大型船に対応する中関3号岸壁の延伸による港湾機能の強化を加速化させるため、ポートセールスや国・県に対する要望活動を、引き続き、官民一体となって進めていただきますようを要望いたします。

また、物流拠点としての機能強化とともに、クルーズ振興や地域経済への波及効果を高めるために、港湾利用関係者との「懇談会」を毎年開催し、関係機関・事業者間の意見交換と情報共有の場を継続的に設けていただくことを要望いたします。



2. 国道2号台道・鉄銭司間4車線化の早期整備

山口県の山陽側の各都市と広島県や福岡県等都市圏をつなぐ一般国道2号は、多くの企業にとって物流の大動脈となる重要な道路です。

こうしたなかで、台道・鉄銭司の4車線化につきましては、山口県国道2号整備促進期成同盟会山防部会および一般国道2号防府山口間整備促進民間期成同盟会による国への継続的な要望活動の結果、慢性的な渋滞などの課題の解消に向け、国において令和6年度に事業化されたところです。

今年度末には富海拡幅が開通し、来年には農道牟礼小野線も完成するなかで、市が掲げられた道路ネットワークの構築が大きく前進いたします。

今後も、さらなる物流機能の円滑化や地域産業の発展のため、国道2号台道・鉄銭司区間の4車線化の早期整備の促進について、官民一体となって進めていただきますようお願いいたします。



3. 国道2号台道・鉄銭司間拡幅に合わせた台道地区への産業団地整備

企業誘致の推進は、地域経済の活性化と雇用の創出に直結する極めて重要な施策です。特に、既存企業との共存共栄が可能な企業の立地が実現すれば、地域産業全体の発展に大きな相乗効果をもたらすことが期待されます。

拡幅整備が進む国道2号台道・鉄銭司エリアは、山陽自動車道のインターチェンジ間に位置し、三田尻中関港や臨海工業地帯へのアクセスにも優れた高いポテンシャルを有しています。

こうした地理的優位性を活かし、企業進出を促進するための産業団地整備を早期に進めていただきたいと考えます。地域産業のさらなる振興と持続的な発展を図るため、同エリアへの産業団地の早期整備を強く要望いたします。



4. 県道防府環状線西浦交差点の早期整備

県道防府環状線の西浦周辺は、国道2号と海の輸送拠点である三田尻中関港をつなぐ重要な区間で、国道2号台道銚子司間の4車線化が事業化により、多くの企業の事業展開にとって、より重要性が増しています。

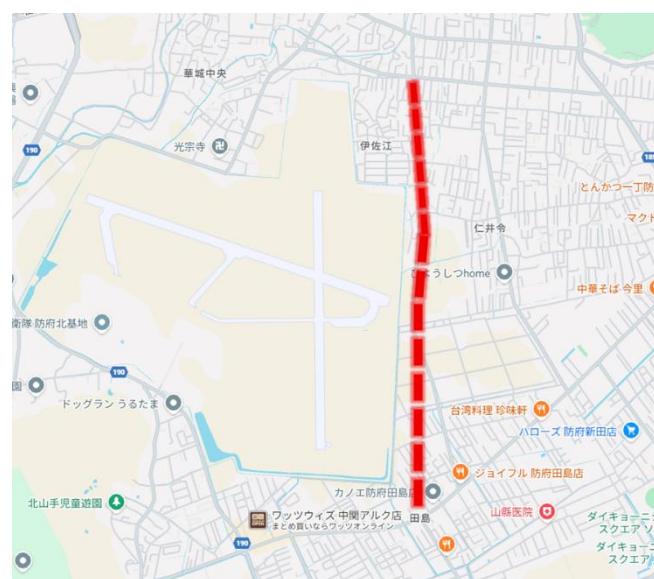
そうした中で、本区間の西浦交差点では、朝夕に1キロ以上の渋滞が発生しており、地元住民の生活や企業活動に影響が出ているところです。災害発生時に重要な役割を果たす第1次緊急輸送道路であることから、交通の円滑化に向けて、本交差点周辺の渋滞緩和策や機能強化のため、県と連携し、事業推進していただきますようお願いします。



5. 防府北基地東側道路の早期整備

中関周辺には多くの工場が立地しており、従業員の通勤時間帯を中心に大規模な渋滞が発生しています。近年、災害の激甚化・頻発化が進む中で、安全・安心な社会の実現には、強靭で信頼性の高い交通ネットワークの構築が不可欠です。そのため、放射・環状交通網の整備は喫緊の課題となっています。

今後は、県立総合医療センターや広域防災広場へのアクセス道路も含めた早期整備を強く要望します。



6. 物流効率化に向けた潮彩エリアの整備

潮彩エリアは、国道2号富海区間の拡幅や県道防府環状線の国道2号への接続により、物流拠点としての利便性が一段と高まっています。

「物流・運送業の2024年問題」以降、配送ルートの最適化や業務効率化が求められる中で、同エリアの市場機能を再編・集約することは、物流効率の向上のみならず、地域経済の活性化にも大きく寄与するものと考えます。

つきましては、水産市場・青果市場・潮彩市場が一体となった一次産業の拠点整備を進め、地域の物流機能を強化するとともに、生産・流通・販売が連携した持続可能な地域経済基盤の構築を要望します。



7. 三田尻大橋周辺の渋滞緩和策対策の実施

都市計画道路環状一号線の沖今宿から中関区間は、工場地帯への輸送や港湾利用において重要なルートとなっています。本年度中には国道2号富海拡幅が完了するほか、バイパスへのアクセス整備や潮彩エリアの高度利用が進むことで、三田尻大橋周辺の交通量はさらに増加することが予測されます。

しかし、三田尻大橋が対面通行であることや、三田尻港入口交差点から三田尻大橋交差点までの短い区間に2つの信号機が設置されていることから、今後さらなる渋滞発生が懸念されます。

つきましては、三田尻港入口交差点から新築地へ4車線で直接往来可能となる三田尻大橋の橋梁架替・整備や、信号機の時間帯に応じた調整など、渋滞緩和策の早期実施について、関係各機関へ特に強く要望されるようお願いします。

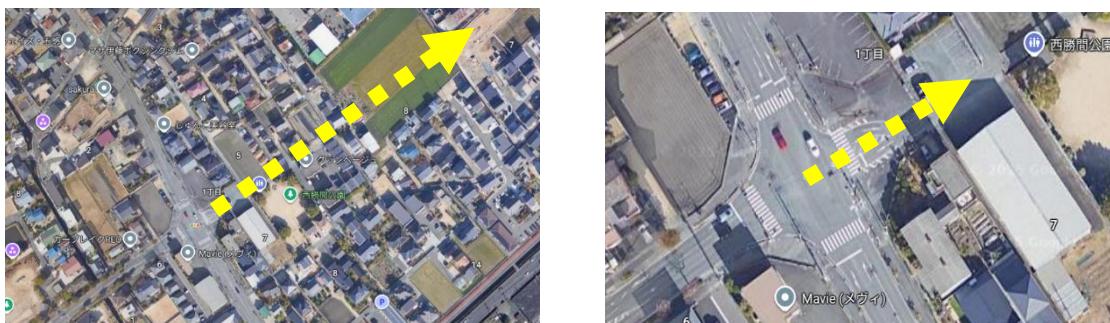


8. 都市計画道路牟礼中関線（勝間地区）の整備

市内南部を横断する一般県道中ノ関新田線～牟礼中関線沿線は、大型商業施設や工場群が立地し、商業・産業の両面で防府市の発展を支える重要なエリアとなっています。

今後、国道2号富海拡幅や自衛隊防府北基地東側の市道新橋中関線が整備されることにより、交通の利便性が一層高まると見込まれますが、同時に交通量の増加や災害時の避難経路確保など、新たな都市機能の強化が求められます。

本線は、県道防府環状線と同様に人・車両・物流を支える「交通機能」に加え、防災性の向上を目的とした体系的・機能的な道路ネットワークの一部として整備される必要があります。つきましては、西勝間交差点以西における都市計画道路牟礼中関線の早期整備を要望いたします。



9. 基幹道路に接する土地利用の見直し（用途緩和）

現在、基幹道路の拡幅や整備が進み、物流の効率化や、激甚化・頻発化する災害に対応した強靭で信頼性の高い交通ネットワークの構築が進められています。これらのインフラ整備は、同時に沿道地域における新たな産業集積や商業機能の拡充を促す好機でもあります。

つきましては、地域経済の発展と企業立地の促進を図る観点から、基幹道路沿線における土地利用の見直し、特に用途地域の緩和等について検討を進めていただくよう要望します。

10. 市街化調整区域における土地利用について

防府市では、新たな都市計画マスタープランに地域の特性を踏まえたまちづくりの方向性が示され、各種施策が着実に進められています。

一方で、道路網の整備や人口構成、産業構造の変化に伴い、民間による土地利用ニーズも多様化しています。特に、市街化調整区域のうち、交通利便性が高く、企業立地や地域産業の振興に資するエリアについては、新たな資本投下や雇用創出の促進が期待されます。

つきましては、地域経済の活性化を図る観点から、地域特性に応じた土地利用が可能となるよう検討をお願い申し上げます。

■交流人口の増加と定住人口に増加に向けた支援に関する要望

1. 表参道再生による中心市街地のにぎわい形成

防府市は、防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園など、歴史と文化が調和した魅力ある街並みを有しています。近年は新庁舎の完成や防府駅前「みずかぜ広場」の整備など、まちなかの魅力向上が着実に進んでおり、さらなる地域活性化への期待が高まっています。

中でも、市役所から防府駅、そして防府天満宮へと続く表参道活性化は、交流人口を呼び込み、まちなか居住や定住人口の増加にもつながる極めて重要な取組と考えます。

天神町銀座商店街では、昭和41年建築のアーケードが老朽化し、安全確保と低・未利用地の活用促進を目的に撤去が決定されました。今後は、歩行者にやさしく回遊性の高い空間として再整備を進めることができます。

防府のまちなかが、市民や来訪者にとって快適で魅力ある場所となることは、地域経済の活性化に直結します。当所としても、商店街や地元住民の皆様と連携しながら、表参道のにぎわい形成に責任を持って取り組んでまいります。

つきましては、地方創生の観点からも、銀座商店街から防府天満宮へと続く道路整備を含む複合的な環境整備の推進を要望いたします。



天満宮から見た参道イメージ



天神銀座商店街のイメージ

■まちのにぎわい創出による交流人口増大への支援

1. 防府の資源を生かしたまちのにぎわい創出・観光振興

当所では、春夏秋冬に合わせた「幸せますフェスタ」を開催し、市民だけでなく市外の皆さんにも楽しんでいただくとともに、まちの魅力を感じていただいております。さらに、「幸せを配る」取り組みとして、各行事で「もちまき」を行い、「もちまきのまち防府」としての定着を図っています。

観光は、多岐にわたる分野と関わる「裾野の広い産業」であることから、観光振興による交流人口の拡大は、地方都市の賑わいづくりや地域活性化に不可欠です。防府市には、防府天満宮、国分寺、毛利氏庭園、阿弥陀寺といった「すごいぞ防府！」の4施設や、メバル公園、大平山公園（遊具整備済み）、三田尻中関港（クルーズ船寄港）など、多くの観光資源があります。

さらには、豪華寝台列車 TWILIGHT EXPRESS「瑞風」の停車、令和8年の山口デスティネーションキャンペーン（DC）、令和9年の防府天満宮御神忌1125年大祭、裸坊1万人奉仕の実現など、地域の観光振興に取り込むべき新たな機会も控えています。つきましては、こうした機会の最大限活用により、交流人口増大、地域経済の活性化を図るため、以下の事項について支援を要望します。

- ① 幸せますフェスタ各事業への継続支援
- ② 「もちまきのまち防府」事業への支援
- ③ 山口DCを通じた誘客事業および地元消費促進事業の実施
- ④ 豪華寝台列車「瑞風」停車による観光誘客の促進と受け入れ環境整備
- ⑤ 1125年大祭に向けたまちなか誘客と裸坊1万人奉仕の実現への取り組み支援
- ⑥ クルーズ振興における公民連携事業の推進



バイキングエデン入港



ギャザリングフェスタ「幸福もちまき」

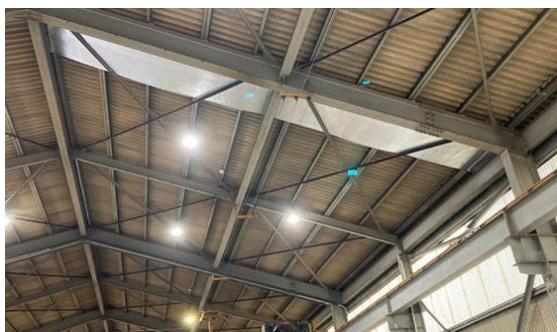
■社会問題への対応に関する要望

1. 熱中症対策に対する支援

2025年6月の労働安全衛生規則改正により、職場での熱中症対策が義務化されました。この背景には、近年の猛暑や地球温暖化による気温上昇があり、職場での熱中症による労働災害が増加していることがあります。特に2024年には、労災認定された熱中症による死者が30人を超え、その多くが初期対応の遅れによる重症化でした。

防府市は製造業を中心とする二次産業のまちであり、猛暑は作業効率の低下や安全確保の面で大きな課題となっています。特に、工場建屋の輻射熱対策など施設設備の改善は急務であり、以下の支援を要望します。

1. 熱中症対策のための設備、施設整備等に対する支援



屋根からの輻射熱対策



工場用エアコン

2. カーボンニュートラルに向けた企業の取り組み支援

防府市では、環境に配慮した取組として「CO₂削減ほうふ市民運動」を推進し、「緑花祭」や「エコまつり」、アスピラートへのカーボンニュートラルコーナー設置など、積極的に展開されています。当所も、防府市と連携し「2050年カーボンニュートラルにともなうグリーン成長戦略」を推進してまいりたいと考えています。

つきましては、企業の脱炭素化を加速させ、地域全体のカーボンニュートラル達成に貢献するため、以下の支援を要望します。

1. 脱炭素まちづくりカレッジの開催支援
2. カーボンニュートラルに向けたセミナーの開催支援
3. 防府市DX・カーボンニュートラル導入資金融資制度の継続



3. 空き家・空店舗の利活用に資する対策の推進

人口減少や既存建築物の老朽化に伴い、使用されていない空き家や空店舗が年々増加しています。その結果、火災の危険性や倒壊の恐れなど安全性の低下、さらには景観の悪化など、地域の暮らしに影響を及ぼす問題が多岐にわたって発生しています。

今後、老朽化した空き家の増加により、これらの課題がさらに深刻化することが懸念されるため、危険な空き家（空店舗）の解消、また住環境の再生を図るために、以下の取組について支援を要望します。

1. 民間事業者が連携して行う空き家（空店舗）情報提供への支援
2. 空き家・空店舗に関する官民連携によるセミナーや相談会の開催
3. 狹隘道路と空き家・空店舗を一体的に解消するための取組支援

4. 増加する休耕田対策について

防府市の総合計画や都市計画では、農業地としている地域は市民への安定的な供給や、市街化抑制、農地が持つ保水機能・遊水機能の維持が掲げられています。しかし、農業従事者は減少傾向であり、休耕田面積は108haと、高止まりの状況が続いています。

こうした状況は、全国的にも同様であり、日本人の主食である米の供給不足や価格高騰につながり、飲食業の原価上昇や個人消費の低迷を招き、地域経済の衰退にも影響しかねません。

つきましては、防府市において農地の再生や保全管理を促進することで、米の地産地消に取り組むとともに、豪雨災害などの異常災害に対応した治水機能の維持・強化を図ることを要望します。

■物品調達・役務の提供等における地元企業の積極的な活用

1. 「バイ防府運動」の展開とふるさと納税による販路開拓支援

地域内の消費拡大と経済循環の促進を目的として、当所では地産地消の「バイ防府運動」を実施しています。しかし、消費者が情報を入手する経路が多様化している中で、既存商品のブラッシュアップや、市民に愛される商品、防府らしさを感じられるお土産品づくりを、市と連携して展開していく必要があります。つきましては、以下の支援を要望します。

- 1 「幸せます」ブランド商品や地元商品を積極的に活用した商品開発・販売支援
- 2 ふるさと納税を活用した地元商品の販路拡大および周知への取組支援



2. 公共工事等の継続的確保と地元企業への優先発注

建設業界は、市民生活の基盤整備だけでなく地域経済を支える重要な役割を担っています。しかし、エネルギー価格の高騰や建設資材の高止まりが長期化していることに加え、人手不足や技能労働者の高齢化など、依然として厳しい状況が続いています。

こうした中、年間を通じて安定した経営を維持するためには、工事発注の平準化や適正な工期の設定、受注機会の確保、人材不足への対応が不可欠です。つきましては、建設業界の振興に資する以下の取組について支援を要望します。

1. 公共工事費の継続的確保および発注の平準化
2. 多様な地元企業の受注機会を増やすための分離発注方式の採用
3. 原材料・資材・エネルギー価格高騰への対応として、発注価格の柔軟な調整